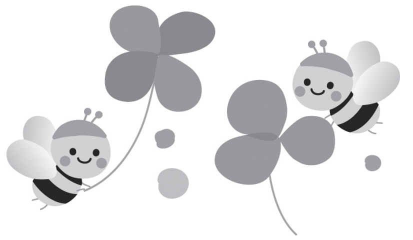
2019年（令和元年）9月号

アポロ新聞

蜂の豆知識



ホームガス課　森本　英幸

①蜂（ハチ）とは

膜翅目（まくしもく）の昆虫の一種で、羽で空を飛び黄色くてお尻の針で刺してくる種類が有名な生き物である。アリの仲間。日本には約4500種のハチがいるが、全てのハチが人を刺すわけではない。

攻撃性が高い蜂はごくわずかで主にスズメバチ類、アシナガバチ類などの仲間。

②スズメバチの一生

《4月～6月》女王バチが冬眠から目覚める。女王バチが一匹で巣を作り始める。最初の働きバチは6月頃に誕生する。

《7月～9月》働きバチが繁忙期を迎え数百匹に増える。巣が大きくなります。

《10月～11月》新女王バチが生まれる。雄蜂が出現､10月頃交尾。新女王バチが越冬の準備に入る。その他のハチは全て死に絶える。巣は空になり二度と使われない。

《12月～3月》新女王バチだけが土中や朽木などで冬眠に入る。

③蜂の被害に合わないためには

夏から秋頃に巣が最も大きくなるため危険。ハチの巣を見つけたら近付かない。

ハチは黒いものを攻撃する傾向があるため、白い服装や帽子を身に付けることを心がける。蜂はにおいの強い整髪料や香水に誘引され、興奮するので攻撃を受けやすくなる。

④蜂に刺されたときの対処法

急いで安全な場所まで避難する。アナフィラキシーショックが疑われる場合は、大至急、救急車を呼ぶか、最寄りの病院へ行く。救急車を待つ間、その場で体を横にし、足を少し高くする。

【アナフィラキシーショックの症状】

自覚症状　他覚症状

・両手足末端のしびれ、耳鳴、めまい・目の前が暗くなった感じ・虚脱感等・じんましんが出る・顔面蒼白などのチアノーゼ・循環不全に伴う意識障害

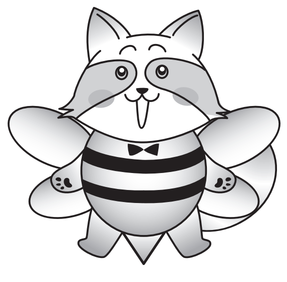
・ショック症状が無い場合…

ハチの毒は水に溶けやすいので、毒を絞り出しながら水洗いする。毒を吸い出す。抗ヒスタミン剤、及びステロイド剤を含んだ外用薬があれば塗る。傷口を冷やす。

⑤ハチに関する言い伝え

ハチには人間に危険な害を加えるスズメバチだけではなく、人間も食べているハチミツを作るミツバチなどのいろいろな種類がいます。特にミツバチは養蜂業が盛んなヨーロッパでは非常に大切にされていて、幸運の象徴とされてきました。欧米の農村部では飼い主やその家族が亡くなると、ミツバチに知らせるという習慣があるくらいです。

日本でもハチは幸運の象徴ととらえることがあり、家の軒下などにハチが巣を作ると縁起がいいと言われており、泥棒や厄除けとして家の入口に吊るされていた時期もありました。



橋本のつぶやき

ハチと言われるとやはり危険な生き物だと感じます。何もしなければ大丈夫だよ、とよく聞きますよね！　私も以前ミツバチが近くを飛んでいたので、ジッと止まってどこかへ飛んで行くのを待ったのですが、なんと私の手の甲に止まってしまい、その後一歩も動くことができなくなってしまったことがあります。その時もお尻をブンブン振り振りし、いつ刺されてしまうかとヒヤヒヤしておりましたが、どこかへ飛んで行ってくれました。

テレビを録音したテープですか～。歌番組などを録音したという話はよく聞く話ですね。私は自分で録音テープを作成したという話を聞くと、人気漫画家であるさくらももこさんのエッセイを思い出します。そのエッセイというのが『もものかんづめ』という本で、ご存知の方も沢山いらっしゃるかと思います。この本に登場する“睡眠学習枕”の話が、カセットデッキで自分の覚えたい内容を録音して、眠っている間に作成したテープを再生させ、無意識に楽に暗記するというものだったと思います。もちろんそういった内容だけでなく、その枕を手にしてどういったことがあったのか、というエピソードも笑いを誘う為、強烈なインパクトを残したのだと思います。おすすめの1冊です（笑）

テレビを録音したテープ

総務課　前田　光弘

実は先日、実家の部屋を整理している際にこの「テレビを録音したテープ」を発見しまして、奇跡的に動いたラジカセで聞く機会が有りました。

この「テレビを録音したテープ」は団塊ジュニアと呼ばれる1970年前後に生まれた方なら一度は聞いた、もしくは作った事が有るのではないでしょうか。

ちなみに「テレビを録画ではなく録音？　なにそれ？」という方に説明しますと団塊ジュニア世代がボーイもしくはガール、ヤングの時にはテレビを録画するブルーレイレコーダーは勿論ビデオデッキも未だありませんでした。

それでもテレビの音だけでも後で繰り返し聞きたい！という人がとった行動はテレビのスピーカーの前にラジカセを置いてカセットテープに録音するという行為だったのです。

これによって生まれたのが「テレビを録音したテープ」なんですね。

※既にビデオデッキやラジカセという名称すら知らない人がいるかもしれませんが；

勿論、テレビ（スピーカー）の前にラジカセを置いているだけですし当時は「テレビは一家に一台、しかも居間！」という家が多かったのでテレビの音以外の色々な音を一緒に録音している訳です。

個人的に一番多かったのではないかと思うのがオカンの「ごはん出来たで～」ではないでしょうか。この後に自分も「今、録音してんねん！　静かにしてや！」と、つい叫んでしまうという所まで録音されているのがお約束です。（断言）

我が家も例に漏れず、ラジカセからたまに家族の声が聞こえてきました。

高齢になっても酒とタバコが好きで陽気だった亡き曾祖父、口うるさかった亡き祖母、口数は少ないが怒った祖母をなだめる亡き祖父の息づかい、やっぱりオカンはオカンやと思わせる母のデカい笑い声でした。

※父は帰宅が遅かったので登場していませんがちゃんと健在です。念の為。

決して裕福な家ではありませんでしたので8mmカメラや映写機など無く、写真はあれども記念写真的な物ばかりが多く残っており日常の姿を写した物は殆どありません。

なので亡くなった曾祖父、祖父母達の声を聞く事などもう二度と無いと思っていただけに聞いた後は自分でも驚く程、感傷的になってしまいました。

長男でありながら家を出て、最低限の農作業だけ手伝いに来て（しかも役に立っていない）、更に忙しさにかまけてろくに墓参りも来ない。こんな人間がこういうテープを聴いて感傷的になってしまった後の行動は恥ずかしくて書けません。

ただ、その日の夕方は膝の上にのせては逃げられる実家のお嬢様（白黒ネコ、3才、女子）に「しっかりしいや！」という意味であろう猫パンチを頬にもらい、見送ってくれる両親にしっかりと頭を下げてから帰宅した事だけはお伝えさせて頂きます。

新入社員紹介

西口　晃平

初めまして。7月1日付で入社しました西口晃平（にしぐち　こうへい）と申します。この度、ご縁がございましてアポロ興産に勤めさせていただくことになりました。前職では工場で、主にトヨタ車のシートの生産をしていました。アポロ興産では外販課という部署で、仕事内容は燃料の営業となり、前職とは全く異なる仕事内容となります。たくさんの不安がありましたが、僕に対し、職場のみなさんは優しく接し、丁寧に仕事を教えていただいているので、肩に力が入ることなく、楽しく、リラックスした状態で、とても良い雰囲気で仕事に励むことができています。

これからは、早く仕事を覚え、慣れ、みなさんの期待に応えるのと同時に、社会に貢献できるよう、一生懸命頑張ります。

また、街中で僕の顔を見かけましたら「アポロの西口君、元気？仕事頑張ってる？」などと気軽にお声をおかけください。緊張もほぐれ、励みにもなりますので、どうぞよろしくお願いします。